

平成26年度

事業報告書

1. 法人事業報告書
2. 施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

平成26年度

法人事業報告書

社会福祉法人 恵の園

目 次

1.平成26年度総括報告(1年を振り返って).....	1
2.法人役員及び評議員.....	3
3.理事会・評議員会開催状況.....	3
4.内部監査結果.....	7
5.法人借入金償還状況.....	7
6.職員人事異動状況.....	7
7.職員配置状況.....	7
8.施設利用者状況.....	8
9.補助金による助成物件.....	9
10.本部事業報告.....	10
(1) 庶務・経理係.....	10
(2) 固定資産管理係.....	11
(3) 防災係.....	13
(4) 人材育成係.....	15
(5) 広報係.....	17
(6) 地域福祉係.....	18
(7) 交通安全係.....	19
(8) 安全衛生係.....	20
(9) 収益事業係オリーブ.....	21
(10) ポパイ(福祉用具貸与・販売事業).....	21
(11) その他の公益事業.....	22

1. 平成 26 年度総括報告（1 年を振り返って）

（1）運営全般

平成 26 年度は、「望みを抱いて喜び、日々進もう」を年間スローガンに掲げ、継続の課題である「行動化の促進」及び「速やかな業務行動体質への改善」を目指したが、本年度も具体的な取り組みまでには至らず。また、行動化の意識強化と手立てについても着手できなかった。

また、福祉サービス事業の「ニーズへの対応」については、昨年度、開設準備を進めていた福祉用具の貸与・販売事業「ポパイ」の事業を開始した。また、主に体に障害のある方々の 2 つ目のグループホーム「クロスホーム」を開設した。

そして、昨年度から取り組んでいた、高齢者の方々の福祉ニーズに対応していくため特別養護老人ホーム「カナン」の開設を平成 27 年 4 月に予定していたが、群馬県からの内示が大幅に遅れたことと、建築費の高騰により建築業者決定までに時間を要し、平成 27 年 2 月に工事が始まった。

（2）福祉サービス事業の「ニーズへの対応」を進める

①新規事業として、4 月 1 日より福祉用具の貸与・販売事業「ポパイ」を開設した。宣伝用のチラシ等の作成の遅れや年度途中での人員変更があり、スムーズに営業を進めることができなかった。そのため、当初の販売計画を下回り、下方修正を行なった。しかし、年度末になって、レンタル契約の利用者数が徐々に増えてきた。

②主に身体に障害のある方々の地域移行促進のために、グループホーム「クロスホーム」の開設は、スプリンクラー設置工事が本年度にずれ込んだことと、人員配置が進まず、2 カ月遅れ 6 月 1 日の開設となった。

③特別養護老人ホーム「カナン」開設を平成 27 年 4 月と予定していたが、群馬県からの内示が大幅に遅れたこと。土地の転用等の許可に時間を要したこと。また、建築業者の決定についても建築費の高騰により、決定に時間を要したこととで、工事開始が平成 27 年 2 月ずれ込み、開設時期を平成 28 年 4 月 1 日に変更した。

④人材の獲得は、例年より、募集時期を 1 カ月早めたが、人員を集めることができなかった。また、人材の育成方法については、例年通りの研修の実施に留まり、新たな取り組みを実施することができなかった。

（3）恵の園の「中期ビジョン」の策定

①これまでの継続課題であった中期的なビジョンの策定は、工事関係や今後の事業展開についての案提出を行ったが、検討するまでには至らず、引き続き次年度へ持ち越すこととなった。

②「法改正をはじめとする福祉の状況変化」と「恵の園の物理的状況変化」への対応は、具体的な整理を行なえず、着手できなかった。

(4) 各福祉サービスの推進

- ①「ベテル」は、経過措置の施設入所支援の利用者は、13名から3名に定員減となった。就労移行は、現在も1名が就労。就労継続B型は、全収入は前年比の80%であったが、平均工賃は、経費削減に力を入れたことで、目標を達成できた。
- ②「グレイスホーム」は、利用者の高齢化に伴い、職員の介護技術の向上に力を入れた。また、職員の「スキルアップ研修」の企画・導入を行ない、統一した介護技術を検討したことで、支援者によるヒヤリハット防止や労災予防につながった。
- ③「あけぼのホーム」は、平成26年度も後半利用率が90%に届かず、収入が予定より下回った。支援においては、マニュアルの8項目について、完成することができた。
- ④「めぐみの里」は、利用者の高齢・重度化に伴い、入浴の見直しを行い、日中の入浴を開始した。また、開設から20年が経ち、国庫の補助を受け外壁塗装を実施した。
- ⑤「エステル」では、4つの事業すべてが25年度の実績を上回り、工賃も前年比15%増となったが、目標は達成できなかった。
- ⑥「シャローム」は、事業全体では前年比約18%増だが、工賃は、一昨年の自然災害を予想し、工賃の設定を下げていたために、目標を達成することができなかった。
- ⑦「あじさいの家」では、今後の委託について渋川市と話し合いを開始した。
- ⑧「マイーム」は、4カ所目のグループホーム「クロスホーム」を6月1日に開設した。群馬県権利擁護センターから虐待の事実確認があり、調査を実施し渋川市に報告した。
- ⑨「さつき」は、定員割れの状態が続いていたが、3月に満床になった。支援では、「ターミナルケア」の支援を家族に了解をいただき進めることができた。
- ⑩「ぶどうの木」は、法人内の契約利用者4名を除き、全員の計画相談を実施できた。
- ⑪福祉の啓発誌「魁」の編集・作成・発行(4回)を行ない、福祉の啓蒙を行なった。

(6) 施設整備関係

主に次のような施設整備を行なった。

- ・ベテルでは、競輪公益資金による補助事業を受け、送迎車両を購入した。また、雪被害でMGMの屋根の補修工事を行なった(保険で対応)。
- ・グレイスホームでは、日本財団から福祉車両の助成を受け、通院等の車両を購入した。また、重油タンクの内面ライニングを施行、引き続き居室改修工事(2部屋)を実施。
- ・あけぼのホームでは、日本財団から福祉車両の助成を受け、外出支援のための車両を購入した。また、除雪機を購入した。給食設備で、食器洗浄機を買い換えた。
- ・めぐみの里では、平成26年度社会福祉施設等施設整備費県費補助金の交付を受け、外壁塗装を行ない、同時にベランダの転落防止パネルボード交換も実施した。
- ・エステルでは、日本財団の福祉車両の助成を受け、送迎車両を購入した。
- ・シャロームでは、群馬県共同募金会の補助を受け、マルチ栽培用トラクター付属作業機を購入した。また、マルチ栽培作業機も新規に購入した。

(7) 借入金の償還

- ・めぐみの里建設の借入金償還が終了した。
- ・グレイスホームの大型改修工事(福祉医療機構)・ダビデホーム建設(北群馬信用金庫)クロスホーム建設(群馬銀行)借入金は、平成26年度分の償還を予定通り行なった。

2. 法人役員及び評議員

(1) 現役員、評議員 (平成27年3月31日)

役職	定数	氏名
理事	7	池田澄子 (理事長)、山田雅人、細井雅生、永田智彦、柴田敏樹 星名建市、木村睦子
監事	2	澤口俊行、飯塚秀利
評議員	15	池田澄子、山田雅人、細井雅生、永田智彦、柴田敏樹、星名建市 木村睦子、財津進介、内海文雄、櫻井実、内山由紀、中澤悦二 井口千春、福田政彦、伊藤善衛

(2) 退任役員、評議員 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	役職名	氏名	退任年月日	備考
退任	評議員	佐藤 忠夫	平成26年5月31日	

(3) 就任役員、評議員 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	評議員	伊藤 善衛	平成26年8月1日	

3. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

開催日	審議内容	審議結果
第206回理事会 平成26年5月19日	第1号議案 平成25年度事業報告(案)	可決
	第2号議案 平成25年度会計収支決算(案)	可決
	第3号議案 特別養護老人ホーム建設予定地の売買契約について	可決
	第4号議案 平成26年度社会福祉施設等施設整備費補助金 めぐみの里 外壁塗装及び屋上防水加工工事指名業者選定(案)	可決
	第5号議案 地域交流ホーム改修工事指名業者選定(案)	可決
	第6号議案 グレイスホーム 地下重油タンク改修工事指名業者選定(案)	可決
	第7号議案 ベテル 運営規程の一部変更(案)	可決
	第8号議案 定款の一部変更(案)	可決
	第9号議案 平成26年度出納係変更(案)	可決

第207回理事会 平成26年7月7日	第1号議案	めぐみの里 外壁塗装工事及び屋上防水加工工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第2号議案	めぐみの里 パネルボード交換工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第3号議案	地域交流ホーム改修工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第4号議案	グレイスホーム 地下重油タンク改修工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第5号議案	平成26年度福祉車両整備補助事業の競輪公益資金の補助金交付による ベテル送迎車両購入指名業者選定(案)	可決
	第6号議案	定款の一部変更(案)	可決
	第7号議案	評議員の選任(案)	可決
第208回理事会 平成26年8月11日	第1号議案	平成26年度福祉車両整備補助事業の競輪公益資金の補助金交付による ベテル送迎車両購入業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第2号議案	特別養護老人ホーム新築工事指名業者選定(案)	可決
第209回理事会 平成26年12月2日	第1号議案	特別養護老人ホームカナン新築工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第2号議案	会計収支補正予算(案)	可決
	第3号議案	平成27年度介護職員初任者研修事業(案)	可決
第210回理事会 平成27年1月16日	第1号議案	特別養護老人ホームカナン新築工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第2号議案	特別養護老人ホームカナンの事業資金の借り入れ(案)	可決
	第3号議案	めぐみの里 外壁塗装工事及び屋上防水加工工事に伴う施設整備等積立金取り崩し(案)	可決
	第4号議案	めぐみの里 パネルボード交換工事に伴う修繕積立金及び施設整備等積立金取り崩し(案)	可決
	第5号議案	会計収支補正予算(案)	可決
	第6号議案	諸規程の一部変更(案) ・職員給与規程 ・契約職員給与規程	可決
	第7号議案	法人役員改選(案)	可決
第211回理事会 平成27年3月17日	第1号議案	特別養護老人ホームカナン新築工事に伴う建設積立金(法人会計)の取り崩し(案)	可決
	第2号議案	ベテル 印刷班のオンデマンド印刷機導入による事業拡大について(案)	可決
	第3号議案	ベテル オンデマンド印刷機購入に伴う指名業者選定及び設備等整備積立金の取り崩し(案)	可決

	第4号議案 ぶどうの木 運営規程の一部変更(案)	可決
	第5号議案 諸規程の一部変更(案) ・職員就業規則 ・職員給与規程	可決
	第6号議案 平成26年度会計収支補正予算(案)	可決
	第7号議案 平成27年度事業計画(案)	可決
	第8号議案 平成27年度会計収支予算(案)	可決
	第9号議案 平成27年度統括会計責任者及び資金運用責任者 管理責任者・施設長、出納係の任命(案)	可決
	第10号議案 池田理事長退任における退職特別慰労金支給について(案)	可決

(2) 評議員会

開催日	審議内容	審議結果
第101回評議員会 平成26年5月19日	第1号議案 平成25年度事業報告(案)	可決
	第2号議案 平成25年度会計収支決算(案)	可決
	第3号議案 特別養護老人ホーム建設予定地の売買契約について	可決
	第4号議案 平成26年度社会福祉施設等施設整備費補助金 めぐみの里 外壁塗装及び屋上防水加工工事指名業者選定(案)	可決
	第5号議案 地域交流ホーム改修工事指名業者選定(案)	可決
	第6号議案 グレイスホーム 地下重油タンク改修工事指名業者選定(案)	可決
	第7号議案 ベテル 運営規程の一部変更(案)	可決
	第8号議案 定款の一部変更(案)	可決
	第9号議案 平成26年度出納係変更(案)	可決
第102回評議員会 平成26年7月7日	第1号議案 めぐみの里 外壁塗装工事及び屋上防水加工工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第2号議案 めぐみの里 パネルボード交換工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第3号議案 地域交流ホーム改修工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第4号議案 グレイスホーム 地下重油タンク改修工事業者の決定と契約の締結(案)	可決
	第5号議案 平成26年度福祉車両整備補助事業の競輪公益資金の補助金交付による ベテル送迎車両購入指名業者選定(案)	可決
	第6号議案 定款の一部変更(案)	可決
	第7号議案 評議員の選任(案)	可決
第103回評議員会	第1号議案 平成26年度福祉車両整備補助事業の競輪公	可決

平成 26 年 8 月 11 日	第 2 号議案	益資金の補助金交付による ベテル送迎車 両購入業者の決定と契約の締結(案) 特別養護老人ホーム新築工事指名業者選定 (案)	可決
第 1 0 4 回評議員会 平成 26 年 12 月 2 日	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案	特別養護老人ホームカナン新築工事業者の 決定と契約の締結(案) 会計収支補正予算(案) 平成 27 年度介護職員初任者研修事業(案)	可決 可決 可決
第 1 0 5 回評議員会 平成 27 年 1 月 16 日	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案 第 6 号議案 第 7 号議案	特別養護老人ホームカナン新築工事業者の 決定と契約の締結(案) 特別養護老人ホームカナンの事業資金の借 り入れ(案) めぐみの里 外壁塗装工事及び屋上防水加 工工事に伴う施設整備等積立金取り崩し (案) めぐみの里 パネルボード交換工事に伴う 修繕積立金及び施設整備等積立金取り崩し (案) 会計収支補正予算(案) 諸規程の一部変更(案) ・職員給与規程 ・契約職員給与規程 法人役員改選(案)	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第 1 0 6 回評議員会 平成 27 年 3 月 17 日	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案 第 6 号議案 第 7 号議案 第 8 号議案 第 9 号議案 第 10 号議案	特別養護老人ホームカナン新築工事に伴う 建設積立金(法人会計)の取り崩し(案) ベテル 印刷班のオンデマンド印刷機導入 による事業拡大について(案) ベテル オンデマンド印刷機購入に伴う指 名業者選定及び設備等整備積立金の取り崩 し(案) ぶどうの木 運営規程の一部変更(案) 諸規程の一部変更(案) ・職員就業規則 ・職員給与規程 平成 26 年度 会計収支補正予算(案) 平成 27 年度 事業計画(案) 平成 27 年度 会計収支予算(案) 平成 27 年度 統括会計責任者及び資金運用 責任者 管理責任者・施設長、出納係の任 命(案) 池田理事長退任における退職特別慰労金支 給について(案)	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

4. 内部監査結果

平成26年5月15日(木)に当法人の監事による平成25年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

5. 法人借入金償還状況

※元金のみ

(単位：千円)

借入先	当初借入額	償還済額	当期減	借入残額	備考
社会福祉・医療事業団	150,000	142,500	7,500	0	めぐみの里 建設借入金
社会福祉・医療事業団	30,000	6,450	1,570	21,980	グレイスホーム 建物改修工事借入金
北群馬信用金庫	36,800	6,300	3,600	26,900	ダビデホーム 建設借入金
群馬銀行	45,000	0	3,645	41,355	クロスホーム 建設借入金
群馬銀行	150,000	0	0	150,000	カナン 建設借入金
北群馬信用金庫	100,000	0	0	100,000	
計	511,800	155,250	16,315	340,235	

6. 職員人事異動状況

(平成26年度中) ※正職員のみ

	人数
退職	7名
採用	9名

7. 職員配置状況

(平成27年3月31日現在)

	バテル	グレイス ホーム	あがいの ホーム	めぐみ の里	エステル	シャロム	さつき	マイーム	ぶどうの 木	ポパイ	あじさい の家	オリーブ	合計
正職員	6	14	34	38	6	5	3	1	2	3	1	0	113
契約職員	6	2	15	13	6	4	6	6	0	0	4	2	64
嘱託等	1	1	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	9
合計	13	17	52	53	13	10	9	7	2	3	5	2	186

8. 施設利用者状況 (定員及び現員及び利用率) (平成27年3月31日現在)

定員及び現員

	ベテル				グレイスホーム		あけぼのホーム		めぐみの里		エステル		シャローム	
	就労移行		就労継続 (内継続入所)		定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
	定員	現員	定員	現員										
生活介護					30	31	50	49	87	85				
入所支援					30	31	50	49	80	80				
入所														
(継続入所)			(5)	(3)										
通所	10	8	30	27							38	37	20	26
短期入所					1		3		4					
日中一時										1				
計	10	8	30	27	31	31	53	49	91	85	39	37	20	26

利用率

生活介護					101.4	90.1	95.4							
入所支援					101.3	90.0	97.0							
(継続入所)			75.0											
通所	70.1		84.3								95.7		116.6	
短期入所					57.7	56.8	59.6							
日中一時											0			

定員及び現員

	さつき		バルナバホーム		さくらホーム		ダビデホーム		クロスホーム		あじさいの家		合計	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
生活介護													167	165
入所支援													160	160
入所	9	9	5	5	4	4	6	5	7	7			31	30
(継続入所)													(5)	(3)
通所											10	8	108	106
短期入所													9	
日中一時														
計	9	9	5	5	4	4	6	5	7	7	10	8	315	301

利用率

入所	78.0	99.5	96.1	94.7	99.3		
(継続入所)							
通所							79.8
短期入所							
日中一時							

※生活介護と入所支援の利用重複者、継続入所者短期入所者は合計には加算していません。

9. 補助金による助成物件

助成団体	補助対象施設	助成物件	総額	助成金額
(財) J K A	ベテル	車両(ハイエース)	2,577,313 円	1,725,000 円
日本財団	グレイスホーム	車両(ハイゼット)	1,261,060 円	870,000 円
日本財団	あけぼのホーム	車両(キャラバン)	3,909,740 円	2,450,000 円
日本財団	エステル	車両(ステップワゴン)	2,129,815 円	1,260,000 円
群馬県	めぐみの里	外壁塗装、屋上防水加工工事	68,040,000 円	51,007,000 円
群馬県共同募金会	シャローム	マルチ栽培用トラクター付属作業機	1,057,320 円	770,000 円

10. 本部事業報告

①概要

本年も法人全体の行事や係等で新たな課題が出されてきたが、改善までは至らなかった。また、全体の課題も一部、次年度へ繰り越した。

②重点目標に対する取り組み

ア 法人事業方針・重点的取り組み課題の具現化を図る

- ・法人、各係、各施設の重点課題の進捗状況を定期的に確認していくこととしていたが、一部分での取り組みは行えたが、全体を進めることはできなかった。

イ 特別養護老人ホームを含めた正職員就業規則等と契約職員就業規則等の完成を目指す

- ・作成した就業規則を専門家に見ていただきアドバイスを受けることができた。また、特別養護老人ホーム関連の規則を追加する予定であったが、開設が1年延期になったことで、着手はしなかった。
- ・契約職員の就業規則を見直しについては、まず、給与関係から進めていく予定であったが、案が出せず具体的に進めることができなかった。

ウ 法人係や全体行事の見直しを行う

- ・法人係の役割等の見直しを行う。
検討も行えず着手しなかった。
- ・同様に全体行事も見直しを行う。
特別養護老人ホーム開設に合わせ次年度に繰り越した。

(1) 庶務・経理係

①概要

各施設の会議に定期的に参加し、予算の執行や次年度の会計計画を役職者等と連携を図り計画的に進めることを目標としたが実施できず、年度末に慌てる結果となった。

②重点目標に対する取り組み

ア 新規事業について学ぶ

- ・ポパイの開設や特別養護老人ホームの開設を見据え、介護保険関連の会計事務及び制度について学ぶ予定であったが横の連携が取れず、ポパイについては担当任せになってしまい、介護保険関連の会計事務及び制度について学ぶことについては、ほとんど手つかずの状態であった。

イ 中・長期の財務計画を作成する

- ・グループホームホームや特別養護老人ホームの開設に向けた借入に対する収入確保についての検討を行なう予定であったが、担当に頼る形で、共通の問題としての意識に欠けた。
- ・修繕等の計画作成に向け、建物・備品関係の状況確認を実施した施設もあったが、足並みが揃わず、法人全体としての中・長期の財務計画作成には至らなかった。

③見学者受け入れ状況

区分／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体	日数	1	1	1	0	1	4	3	1	2	0	1	1	16
	人数	4	20	1	0	5	78	92	13	90	0	30	2	335
個人	日数	3	2	0	1	0	1	1	1	0	1	3	2	15
	人数	3	2	0	1	0	4	1	2	0	2	5	4	24
総 合計	日数	4	3	1	1	1	5	4	2	2	1	4	3	31
	人数	7	22	1	1	5	82	93	15	90	2	35	6	359

(平成 25 年度 33 日、235 人)

④実習生受け入れ状況

区分／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
社会人・学生 (資格取得)	日数	2	0	31	17	63	75	49	17	51	5	6	21	337
	人数	2	0	3	5	6	7	5	5	7	1	2	3	46
生徒 (施設利用)	日数	0	43	5	0	3	34	6	0	0	0	0	1	92
	人数	0	6	3	0	1	9	2	0	0	0	0	1	22
総合計	日数	2	43	36	17	66	109	55	17	51	5	6	22	429
	人数	2	6	6	5	7	16	7	5	7	1	2	4	68

(平成 25 年度 294 日、40 人)

(2) 固定資産管理係

①概要

利用者が安心・安全な生活を送るために、保守点検・環境整備・建物設備の課題を洗い出し、整備を行なった。

②重点目標に対する取り組み

イ 各施設の「建物設 5 年計画」を作成する

- ・建物の整備課題のリストアップはできたが、設備面（器具・備品類）の減価償却などの把握が不十分であり、完成に至らなかった。また、「5 年」という期間設定も、計画を立てにくい一因だった。よって次年度は、期間設定を「中長期」とし、平成 24 年度に作成した「器具及び備品等管理台帳」を活用し、課題のリストアップを図

る。また、補助金の有効活用も視野に入れて計画を立てる。

③主に実施した施設整備

- ・大型工事として、「地域交流ホーム改修工事」と「めぐみの里外壁塗装・屋上防水加工工事（国庫補助）」を実施した。
- ・平成 26 年 2 月の大雪による被害に関連した工事を実施した（MGM屋根修理、グレイスホーム雨樋修理等、あじさいの家玄関屋根ポーチ工事）。シャロームの農業用ハウス復旧工事も予定していたが、現状を勘案し見送った。
- ・当初予定していた「さつき寮 201 号室改修工事」は、地域交流ホーム改修工事の工事内容が一部変更となり、工事費用が増額になったため平成 27 年度以降に見送った。

月	日	実施内容	業者
4	4	浄化槽法第 11 条検査①	県環境検査事業団
	9	あじさい坂 N T T 電線工事	ミライトテクノロジー
	11	簡易専用水道定期検査	県環境衛生試験センター
	12	身障 P A S 交換工事	関東電気保安協会
	24	電気設備安全点検（職員寮、エステル、さつき、教会、バルナバホーム）	関東電気保安協会
	30	エポック 21 定期メンテナンス	エポックアレーテ
	30	高架タンクパッキン交換	日化メンテナンス
5	23	あけぼのホーム浄化槽法第 7 条検査	県環境検査事業団
	25	身障キュービクル部品交換	セイモーター
	27	浄化槽教室参加（都丸）	
	30	樹木消毒	各施設
6	13	身障厨房エアコン排水管工事	萩原興業株式会社
		*用地・境界確認	各施設、共有建物
		*建物点検	〃
7	2	身障厨房浄化槽ブロー交換	環境技研工業株式会社
	11	職員研修所屋根雨漏り工事	津久井工務店
	14	若杉寮排水柵詰まり点検・清掃	萩原興業株式会社
	16	身障厨房排水柵コンクリート布設工事	〃
	22	身障厨房排水管清掃	〃
	24	樹木剪定	勢多造園
	24	グレイスホーム自販機前排水柵工事	萩原興業株式会社
29	グレイスホーム加熱ボイラー工事	〃	
8	4	地域交流ホーム改修工事～11/19	小林工業株式会社
	11	駐車場入口の U 字溝工事～8/12	渋川市
	21	めぐみの里外壁塗装・屋上防水加工工事 ～12 月中旬	津久井工務店
	27	グレイスホーム居室 2 部屋改修工事～9/16	〃
		*地下重油タンク：目視点検	乙四資格保持者

9	3	グレイスホーム地下重油タンク改修工事 ～9/13	第一工業株式会社
	4	身障施設水道電磁弁工事	萩原興業株式会社
	11	教会浄化槽ブロー交換工事	渋川衛生社
	11	さつき寮浄化槽放流ポンプ交換工事	〃
	18	クロスホーム浄化槽法第7条検査	県環境検査事業団
	18	グレイスホームスプリンクラー自家発電機基盤修理	関東電気保安協会
	24	身障厨房洗浄室排水管詰まり除去工事	萩原興業株式会社
	27	めぐみの里電気年次B点検	関東電気保安協会
10	24	身障厨房：床の塗装工事予定～10/27	津久井工務店株式会社
	27	身障厨房浄化槽計量ポンプNo.2交換	環境技研工業株式会社
11	1	あけぼのホーム地下重油タンク清掃	山田商店
	10	教会暖房パネルヒーター交換	萩原興業株式会社
	20	浄化槽法第11条検査②	環境技研工業株式会社
		*凍結防止対策（～3月頃）	各施設
12	17.18	L P ガス設備保安点検（4年に1度）	群馬県L P ガス協会
	26.22	水道メーター交換（身障 50 mm、めぐみの里 40 mm、あじさいの家 30 mm：いずれも8年に1度）	渋川管工事 （50 mmは渋川市も立ち会い）
	26	教会脇の扉修理	戸塚
1	15	さくらホーム浄化槽法第11条検査	県環境検査事業団
	20	浄化槽清掃（さくらホーム、MGM, ベテル）	渋川衛生社
3	7	身障施設電気年次B点検	関東電気保安協会
	28	受水槽・高架水槽清掃	日化メンテナンス

※定例会議は、4,6,8,10,12,2月の第2木曜日に実施。

※浄化槽定期点検は、法令に則り実施。

※浄化槽法第11条検査（年1回・県環境検査事業団）は、2回に分けて実施。

①グレイスホーム、めぐみの里、エステル、シャローム

②バルナバホーム、マンナ、さつき、職員研修所、若杉寮、ベテル、MGM、恵の園
会議室、白菊寮、地域交流ホーム、あけぼのコミュニティー教会、あじさいの家、
ダビデホーム、さくらホーム（1/15）

※あけぼのホームとクロスホームの浄化槽は新設のため、浄化槽法第7条検査を実施。

※身障・知的施設のキュービクルは、奇数月に定期検査を実施（関東電気保安協会）

（3）防災係

①概要

様々な災害を想定した訓練実施を計画し、今年度は初めて土砂災害訓練を実施した。
また、災害時の福祉施設の役割の一つとして上げられる避難所としての機能を果たせる

よう、非常食の見直しを検討した。次年度は検討した非常食の購入を進める。

②重点目標に対する取り組み

ア 様々な災害を想定した訓練計画を実施する

- ・風水害時の訓練として、ベテル作業棟での土砂災害訓練を実施した。また、地震訓練においても、訓練内容を細かく想定（要救助者の発生、安全確保へのポーズ等）することができた。

イ 災害時における福祉施設の役割を検討し、非常食の見直しをすすめる

- ・福祉避難所として、近隣住民の避難先となった際の非常食の確保は急務であり、その内容の見直しと食数の確保を検討した。次年度は、その内容を基に購入へと繋げる。

③防災訓練年間実施結果

月	日	訓練内容	担当施設	備考
4	28	地震訓練	グレイスホーム	避難、出火防止
6	26	合同訓練（日中）	エステル・あじさいの家	避難、通報訓練
	28	合同訓練（日中）	さくら・バルナバホーム	避難、通報訓練
7	9	合同訓練（日中）	あけぼのホーム	避難、通報、消火訓練
	10	合同訓練（日中）	グレイスホーム	避難、通報訓練
	12	合同訓練（日中）	ダビデ・クロスホーム	避難、通報訓練
8	25	合同訓練（夜間）	めぐみの里	避難、通報訓練
9	13	合同訓練（日中）	さくら・バルナバホーム	避難、通報訓練
10	26	合同訓練（日中）	ダビデ・クロスホーム	避難、通報、消火訓練
	29	合同訓練（夜間）	あけぼのホーム	避難、通報訓練
	30	合同訓練（日中）	ベテル	避難、通報、煙訓練
11	14	合同訓練（日中）	さつき	避難、通報訓練
12	11	合同訓練（夜間）	グレイスホーム	避難、通報訓練
2	19	土砂災害訓練（日中）	ベテル	避難、通報、救助訓練
	20	合同訓練（日中）	めぐみの里	避難、通報訓練
	25	地震訓練	あけぼのホーム	避難、出火防止、救助訓練
	26	合同訓練（日中）	エステル・あじさいの家	避難、通報、煙訓練
3	6	合同訓練（夜間）	さつき	避難、通報訓練
	12	合同訓練（夜間）	ベテル	避難、通報訓練
	19	地震訓練	めぐみの里	避難、出火防止

※その他 ・秋季全国火災予防運動（平成26年11月9日～15日）

・春季全国火災予防運動（平成27年3月1日～7日）

(4) 人材育成係

①概要

昨年度末から引き続き、管理職はメンタルヘルス経営学セミナーを受講した。また、車両事故の防止のため、テーマ別研修として運転適性検査と送迎時の留意点の講義を実施した。

②重点目標に対する取り組み

ア 人材育成体系の完成

- ・担当者間で作成した体系の案を管理職会議にて検討をしたが、完成にはいたらなかった。併せて研修内容の見直しも計画していたが、具体的な取り組みにはいたらなかった。

③実施研修

ア 法人内研修

・理事長研修会

月	日	内 容
6	2	「福祉の原点としての隣人愛」 — 介護・支援の現場から恵の園の理念を考える —
11	4	「人間」～人生・暮らし・仕事・使命 ＝ 人はその一生をもって、その意味を知る存在である ＝
2	16	「全ての事には時がある」

・管理職研修会（相談役による）

月	日	内 容
6	17	「人間力」で仕事をしよう
10	21	管理職として「成熟」を学ぶ
12	22	人づくり 自分づくり
3	16	定見を持って提言する

・指導職研修会（相談役による）

月	日	内 容
5	19	Response と Responsibility — 与えられた役割を生かさない —
8	18	捜そう
1	19	これからの社会福祉施設のあり方と対応

・指導職研修（実務研修）

月	日	内 容	講 師
4	25	新任チーフ研修	山田常務理事
6	20	新任チーフフォローアップ研修	山田常務理事、福田副部長

・全体研修会

月	日	内 容	担 当 者	備 考
5	20	AED を使用した心肺蘇生法	人材育成係	渋川消防署

・現任研修会

各施設にて年間 11 回実施。

(部門別)

実施せず

(階層別・相談役による一般職研修会)

月	日	内 容
4	21	歴史はなぜ必要なのか
7	22	職場から悪口を一掃しよう
10	21	つもり違いの十カ条 自己認識と事故啓発の必要性
1	19	日本再生のカギ「自助努力」について

(階層別・役職研修会)

月	日	内 容	講 師
4	21	福祉用具ポパイについて	福田副部長
7	22	「サービス等利用計画」と 「個別支援計画」	中島チーフ
10	21	職場の労働災害防止について ～ヒューマンエラーの防止～	石田施設長
1	19	共同受注窓口について	小林チーフ

・新任職員研修会

月	日	内 容	講 師
6	30	フォローアップ研修	内山本部長
3	27	フォローアップ研修	山田常務理事
3	18 ～ 21	平成 27 年度新任職員研修 (26 年度中途採用含む)	山田相談役 池田理事長、各施設長

・テーマ別研修

月	日	内 容	講 師
12	10	交通安全について	福田副部長

・メンタルヘルス研修

月	日	内 容	講 師
8	29	メンタルヘルス経営学セミナー (半年間のフォローアップ後)	マインメンタルヘルス研究所 山崎友丈所長

イ 法人外研修

- ・施設毎に種別団体の研修、群馬県社会福祉協議会関連の研修に参加した。

ウ 見学研修

- ・各施設にて他法人の施設見学を行なった。

エ 自己啓発の推進

- ・図書の購入を進めるも、職員に対する発信が殆どなかった。

オ 専門医等による研修

- ・実施せず。

(5) 広報係

①概要

法人内に設置する求人のチラシを作成。今年度の完成は至らなかったが、次年度には配布できるよう進めることができた。

ヒストリームービーを引き続き検討したが、完成には至らなかった。

②重点目標

ア 27年度に向けパンフレットの作成、施設紹介ムービーやホームページ等の改訂

- ・特養開設が28年度となり、パンフレット作成の前段階として、既存のパンフレットのままで新たにカナンを加えることが可能かを検討。既存のパンフレットを活用し、来年度に検討、作成を進めていくことになった。

イ ヒストリームービーの改訂と作成

- ・3部作の1つとなるヒストリームービーのBGMを変更し検討。結果として現在作成中のものより良いものは見つからなかった。引き続き検討を行なうこととなった。

③業務内容

- ・法人パンフレットの改訂および管理
新規事業等に伴い、レイアウト検討中。
- ・施設PRパンフレットの更新および管理
新規事業、事業名称変更等で改訂を行なった。
- ・「施設紹介ムービー」の更新と管理
新たな事業所を追加、施設紹介の文言をよりわかりやすくし、編集継続中。
- ・「恵の園からのメッセージ」ムービーの作成と管理
「施設紹介ムービー」と合わせ、実習オリエンテーション、見学者来訪時等に活用した。
- ・「ヒストリームービー」の作成と管理

- BGMを変更し会議で検討、編集継続中。
- ・施設紹介パネルの作成と管理
マイームにクロスホームを追加。所定の場所で掲示した。
 - ・ホームページの更新および管理
恵の園マップ改訂。
 - ・恵の園ニュース「一粒の麦」の作成及び管理
毎号 2500 部印刷、約 1200 部送付
平成 26 年 4 月 18 日（春号）発送
平成 26 年 9 月 3 日（夏号）発送
平成 26 年 12 月 12 日（秋号）発送
平成 27 年 1 月 9 日（新年号）発送
 - ・看板の整備と設置
主に固定資産管理係が中心となり行なった。
 - ・職場啓発ポスターの掲示および管理
二ヶ月に一度ローテーションし、所定の場所に掲示した。

（6）地域福祉係

①概要

昨年度に引き続き、小・中学校の福祉体験学習や介護職員初任者研修の講師を派遣や近隣の中学校の職場体験学習の生徒の受け入れを行なうなど福祉教育の推進を行なうことができた。また、地域の催しに参加したり、協力したりすることができた。

地域サービスデーは、利用者の身体状況や職員配置などから実施内容や方法などを見直しすることになった。

②重点目標

ア 各施設の意向に沿ったボランティアの獲得及び定着を図る

- ・各施設でボランティアに行なって欲しい活動内容を話し合い、具体的な内容を挙げることができたが、募集の仕方が課題となり、検討を行なったが具体的な行動に移すことができなかった。そのため新たなボランティアの開拓ができなかった。

イ 福祉に関する講座等の検討

- ・何か自分達の持つ知識や技術などを使って地域に貢献できないかと考えたが、内容が曖昧だったため検討までに至らなかった。内容を絞り込んで再検討することとなった。

③ボランティア受け入れ実績

- ア 新規ボランティア登録者数：2名
- イ 協力ボランティア団体：5団体
- ウ ボランティア実績表

区分/月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体 ボランティア	日数	6	3	6	7	9	6	4	4	7	4	2	5	63
	人数	41	23	34	51	42	45	31	28	60	26	11	37	429
個人 ボランティア	日数	9	10	9	6	8	7	7	9	6	5	5	7	88
	人数	14	14	11	9	14	7	9	14	9	8	9	11	129
総合計	日数	15	13	15	13	17	13	11	13	13	9	7	12	151
	人数	55	37	45	60	56	52	40	42	69	34	20	48	558

④地域との交流について

- ・利用者と共に地域サービスデー（環境美化）を6月と9月と年2回に実施した。
- ・ゆうあいピック記念温水プールに、行事用品としてテントの貸し出しを行なった。
- ・10月に行われた渋川社会福祉協議会主催のボランティア祭に模擬店協力を行なった。
- ・各施設でボランティア交流会（感謝の集い）を行なった。

⑤講師等の派遣について

- ・渋川市立金島中学校と渋川市立南小学校から福祉体験学習の講師の派遣依頼があり、それぞれの学校に職員が行き、車椅子体験の講義を行なった。
- ・榛名女子学園から介護職員初任者研修の講師の依頼があり、選任した職員が講義を行なった。また、筆記試験も職員が行き、対応した。

⑥その他

- ・地域行事の『明保野祭』に利用者と共に参加した。
- ・渋川ライオンズクラブのふれあいボーリング大会や高崎パイロットクラブコンサート、Jリーグ「ザスパ草津」観戦、BCリーグ「ダイヤモンドペガサス」観戦招待をいただいた。
- ・渋川市総合文化祭への作品展示や歌謡部門に参加した。
- ・高柳歌謡教室発表会に参加した。
- ・子持中学校と榛東中学校の職場体験学習の生徒の受け入れを行なった。
- ・豊秋婦人会より、花の苗を頂き、各施設のプランター等に植えた。

(7) 交通安全係

①概要

交通事故防止のため、ポスターやチラシの掲示、配布を行なうと共に朝礼等で交通安全週間などの情報提供を行なった。また、近隣の方から指摘のあった危険個所についてレジュメを作成し、各施設に情報共有を促した。事故数は大幅に減少したが、施設車両を廃車にしなくてはならない大きな事故があり、保険料がさらに上昇することとなってしまった。

②重点目標に対する取り組み

ア マニュアルを作成する

- ・定期点検、車検等の実施についてのマニュアルは検討まで、整備マニュアルの作成については注意点のチラシを各担当に配布したまでにとどまり、完成することができなかった。

イ 適性検査の実施

- ・群馬県交通安全協会から安全運転シミュレーターの車両に來園していただき、第1回目の適性検査を実施する事ができた。受講者の感想は概ね好評であったため、今後は、全職員への実施を計画したい。

③業務計画に対する取り組み

ア 安全運転管理者は、「車両の安全運転管理規程」に基づき、車両担当者、運転者に必要な指示、連絡を行ない、職員に交通安全を励行させる。

- ・不定期ではあったが、車両担当に安全運転の徹底を図るよう各施設での連絡を依頼した。

イ 車両担当者は、毎週1回、必ず車両の点検を行ない、運行日誌を速やかに車両管理者に提出する。また、定期的に洗車と工具類の点検を行ない、運転する誰もが、いつも快適に運行が出来るように努める。

- ・運行日誌は、ほぼ予定通りに提出された。備考欄に、車検や点検、交換などの情報を記入してもらい、速やかな対応を指示した。

ウ 交通安全に対する職員の意識高揚を図るため、職員研修会での交通安全講習に加え、任意で、運転適性検査を実施する。

- ・渋川警察署交通課に講師を依頼し、職員研修会で交通安全講習を実施した。運転適性検査も日程調整し実施することができた。また、テーマ別研修として安全運転の講義を行なった。

エ 職員朝礼時、県内の交通情報や事故例を提供して交通安全の意識を高める。

- ・朝礼等で、交通安全週間、交通情報や事故例を提供し、交通安全の意識を高めた。

オ 除雪に備え、ショベルローダーの講習受講を進める。

- ・チーフ2名が受講した。また、労基より指摘のあったショベルローダーの作業計画を作成し、運行区域を掲示した。

(8) 安全衛生係

①概要

安全で快適な職場づくりを行うため「オンとオフ、上手に切り換え、リフレッシュ」を年間スローガンとして掲げて安全衛生活動に取り組んだ、しかし、屋外作業中に足を骨折する事故や数件の軽度の労災事故も発生してしまった。また数名ではあるが心因的な事由で体調を崩す職員が発生、法人の契約する外部機関によりカウンセリングを受け職場復帰へと繋がった。

②重点目標に対する取り組み

ア 労働災害の予防を図る

- ・労働災害予防のために全職員にアンケートを実施し、それを基に環境改善や作業方法の改善を行った。また、腰痛に関する問題もアンケートから表出したが、具体的な対応を図ることができず、次年度への課題となった。

イ 労働疾病の予防を図る

- ・メンタルヘルス対策として外部機関に委託して、ストレス診断テストを全職員に実施し、個々にメンタルヘルスに関する対応法などのアドバイスをすることができた。

(9) 収益事業係オリーブ

①概要

商品の取り次ぎ販売の売上げが伸びたが、飲食事業の冷凍冷蔵庫を買い替え、その分の費用がかかり、利益は昨年度よりも減少した。

②重点目標に対する取り組み

ア 利益向上を目指す

- ・新規の事業は取り組めなかったが、お中元・お歳暮ギフトの販売は案内先を増やした。しかし、売上げは前年度並みであった。
- ・園内販売等の見直しを計画していたが、具体的な案が出せず、実行に移せなかった。

(10) ポパイ（福祉用具貸与・販売事業）

①概要

新事業として開設し1年が経過した。県内各事業所に認知をしていただくために営業を行なったが、年度途中で正職員が1名休職・産休のため、職員1名体制となり業務を分担できず、各事業所への営業が計画的にできなかった。10月より、職員2名体制となり遅れを取り戻すべく営業計画の見直しを行なったが、すぐに売上げには繋がらなかった。また、当初の売上計画より利益が出ず、法人から1200万円の借り入れを行なった。後期は、営業を成果が少しずつ出始め、レンタル契約の利用者数も増加した。

②重点目標に対する取り組み

ア 関係各所との連携を深める

- ・群馬県内の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、ケアマネージャー等の名簿作成は速やかに行なえたが、カタログやチラシ作製に時間を要してしまったため、

営業回りの開始が遅れた。関係各所と連携を深めるために、リコール情報等を提供した。

- ・職員から知り合いのケアマネージャー等の紹介を受けたり、渋川広域の交流会に参加するなどしてポパイをアピールした。その結果、数件の契約に結び付いた。
- ・日建リース工業と新規契約をしたことで、自費ベッドのレンタルが可能となった。おすすめ商品のチラシを作成し各事業所に配布。ポパイの特長作りを行なうことができた。
- ・次年度より、介護保険制度が一部変更となり福祉用具の複数貸与の減額制度等が追加となるが、そのための情報収集は行えなかった。

イ 販売計画をたてる

- ・販売の件数は予想を超えたが、レンタル客数の伸びが低調であった。レンタル客数が増えることにより各特定福祉用具の販売の機会が増え、全体の売り上げにつながるため、今後はそちらに力を入れると共に、外部の施設に消耗品等も売り込みたい。
- ・プラスチック手袋のサンプル商品を渡すことで販売促進を行ない、1件ではあるが購入に繋がった。
- ・「営業状況を確認しつつ、月々の売り上げ計画を立てる」に対しては、レンタル商品の特徴づけた（自費ベッドと安価なレンタル商品）売り込みができるまでの一連の作業（日建リース工業との契約や一般レンタルの契約書、チラシの配布）に時間を要し、本格的に活動できたのが1月頃となったため、売上計画を立てる段階までに達しなかった。
- ・年間売上実績

単位／千円

	当初の年間売上計画	修正後の年間売上計画	売上高
貸与事業	6,186	688	572
販売事業	1,610	901	1,880

当初の年間総利益計画	修正後の年間総利益計画	売上総利益
3,489	614	314

(11) その他の公益事業

①福祉啓発のために季刊誌「さきがけ」を編集、作成、発行

- ・平成26年度は、発行を4回行った。

②介護職員初任者研修課程の実施

- ・予定通り実施したが、定員20名のところ、受講者は5名であった。募集方法等について、これまでと同様の方法だけではなく、新たな取り組みの検討が必要となった。

③少年補導及び矯正事業への協力

ア 前橋家庭裁判所からの補導受け入れ

	期間	性別	人数		期間	性別	人数
1	5/12～30 (19日間)	男	1	2	3/16～18(3日間)	男	1
				計	2人 (22日間)		

(平成25年度 2人、9日間)

イ 矯正事業への協力

榛名女子学園（女子少年院）からの依頼受け入れ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	2	0	3	2	0	5	0	7	3	0	0	6	28

(平成25年度 49人)

④NPO 法人 渋川広域障害保健福祉事業者協議会に参画（職員の出向、役員とし

ての経営参加等）し、渋川広域地区における障害のある方々の地域生活支援を

実施

- ・2名の職員を派遣し、恵の園の相談支援事業所「ぶどうの木」と連携し、計画相談や相談等を行なった。